平戸市
議会だより

向花樹会の皆さん

ツバキに魅せられ半世紀

イベント情報

第50回平戸椿まつり	○とき　2月21日(土)・22日(日)	○ところ	平戸市未来創造館
第52回田平つばき物産展	○とき　2月28日(土)・3月1日(日)	○ところ	田平町民センター

Vol.92　令和8年(2026年)2月1日発行

平戸市議会ホームページ

バックナンバー

もくじ―INDEX―

12月定例会
2～5　今議会ここに注目！
6　審議された案件と結果
7～13　一般質問・議会構成変更のお知らせ
3月定例会のお知らせ・傍聴のご案内
14　平戸のチカラ

平戸市議会だより ～とかいせん～ Vol.92 2026.2
編集・発行：平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3
TEL22-9170 FAX22-3427 E-mail:gikai@city.hirado.lg.jp

このコーナーでは、平戸市で活躍する人や団体にスポットをあて、ご紹介します。

平戸のチカラ

平戸園芸愛好会・向花樹会（こうかじゅ）
数百種の平戸・田平のヤブツバキ花を咲かせてまちを元気に

平戸市が誇る「ヤブツバキ」を大切に育てる平戸地区の「平戸園芸愛好会」と田平地区の「向花樹会」の皆さん。毎年2月～3月に展覧会を開催する団体の2人に、活動にかける思いについて伺いました。

Q　ツバキを育てて、どのようなときにやりがいを感じますか。

吉永　盆栽では接ぎ木して育てるのですが、時間をかけてようやく花が咲いたときに喜びを感じます。特に、交配した花は咲くまで色や形がわからないので、待つ時間も楽しみです。

森　私は毎年、田平まちづくり協議会の依頼で、小学校の卒業生に苗を贈っています。中学生になった皆さんが「花が咲いたよ、ありがとう」と笑顔を見せてくれることが何より嬉しいです。

Q　今後の活動への思いを聞かせてください。

吉永　若い仲間（会員）を増やしたいです。なかなか気付かないのですが、身近な場所にきれいな花をたくさん咲かせているツバキに目を向け楽しんでほしいです。

森　田平を「ツバキのまち」にしたいと考えています。まち中にツバキの花が咲き、みんなで種を集めて油を絞り名産品として確立できるくらい、活動を広めていきたいと思っています。

(左)平戸園芸愛好会　吉永（よしなが） 保雄（やすお） さん

(右)向花樹会　森（もり） 喜一郎（きいちろう） さん

編集後記

平戸市では昨年10月の改選により新市長が誕生し、新たな議会議員のメンバーも揃いました。

そして程なく12月議会が開かれ、新人議員を含めた12名が一般質問を行いました。新人議員の新たな目線からの質問、そして新市長の心を込めた答弁が印象的でした。

市民の皆さんがこの「議会だより」を読まれる頃は、巳年から午年へ改めての新年になっていることと思います。

旧暦2月の和風月名は如月（きさらぎ）。万物が春に向かって動き出すという意味合いがあるようです。

これから皆さんと共に動き出す、新広報特別委員会のメンバーをどうぞよろしくお願いします。　池田　稔巳

広報特別委員会

委員長　池田　稔巳
副委員長　岡　康則
委員　井元　宏三
委員　岡村　文雄
委員　針尾　直美
委員　山内信太朗

平戸市議会 検索　市議会の詳しい情報は、平戸市議会のホームページをご覧ください。

今議会 ここに注目

令和7年12月定例会

総務厚生委員会

通学時間帯の接続で利便性の担保を

議案第113号「令和7年度平戸市一般会計補正予算（第5号）債務負担行為補正中、総務課所管「ふれあいバス運行業務委託料」

現在、生月バスが運行している平戸高校線（加勢川入口―平戸高校）の路線廃止（予定）に伴い、その代替路線として、令和８年４月からふれあいバスの運行区域を拡大する。

これに伴い、汐見町バス停で生月バスからふれあいバスに乗り換えとなる。

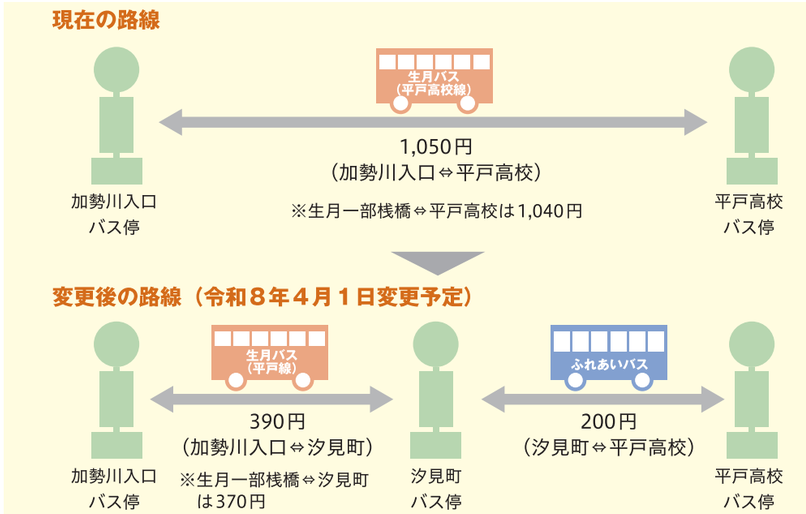
総務厚生委員会での主な論議

Q 交通アクセスはきちんと連携しているのか。

A 高校生の通学で利用する朝夕の便は確実に連携する。

Q バス料金が、生月一部桟橋～平戸高校の一般料金の場合、現行の1,040円（※）から570円（※）と安くなることで、一般の利用者が増えることも想定されるが、運行対応は可能なのか。

A 現在の乗車状況によると現行のふれあいバスで対応可能と考えているが、今後の運行状況に応じて、増便または車両の大型化を検討したい。



定例会概要

委員長報告全文

生命・財産を守る 林野火災予防を

議案第100号「平戸市火災予防条例の一部改正について」

令和７年２月の岩手県大船渡市の林野火災を受け、林野火災予防の実効性を高めるために、総務省消防庁により国の基準が改正された。

これを踏まえ、平戸市でも、気象状況に応じて「林野火災注意報」または「林野火災警報」を発することができるよう条例の一部を改正した。

また併せて、たき火の届出制度が必要になることを明確化した。

総務厚生委員会での主な論議

Q 市の広報誌やホームページなどで市民に周知すると思うが、地域での啓発活動や消防団の車両巡回などによる周知も必要ではないか。

A さまざまな手段でしっかりと市民に周知したい。

令和８年 1/1～ 林野火災注意報・警報の運用開始

林野火災注意報

林野火災の予防上「注意」が必要と判断される気象状況になったときに発令。市内での火入れ・たき火など、火の使用を控えてください。（努力義務）

林野火災警報

林野火災の予防上「危険」と認める気象状況になったときに発令。市内において火入れ・たき火など、火を使用することができません。（罰則のある義務）

火の使用制限に従わない場合は、30万円以下の罰金または拘留が科されることがあります。

発令時には、火入れ・たき火・花火の使用・可燃物近くや山林などでの喫煙が規制されます。

○火入れ・たき火の例

小枝・枯れ葉の焼却

麦わら・あぜ草の焼却

たき火

キャンプファイヤー

キャンプ場での屋外調理

※詳細は消防署または出張所へお問い合わせください。

▶消防署　☎22-3167　▶中津良出張所　☎27-1126　▶生月出張所　☎53-2580
▶田平出張所　☎57-0440　▶大島出張所　☎55-2040

有効活用の検討を

議案第113号「令和7年度平戸市一般会計補正予算（第5号）中、歳入「不動産売払収入」

総務厚生委員会での主な論議

Q グリーンヒルズの宅地として売却可能な最後の１区画を売却したとのことだが、残りの区画について、災害時の仮設住宅用地や地域での活用なども含め有効活用の方向性を早めに決定すべきではないか。

A これまでも活用方法を検討してきたが、早急に結論を出せるよう庁内で検討していきたい。

産業建設文教委員会

議案第113号「令和7年度平戸市一般会計補正予算（第5号）」中、観光課所管「平戸宿泊キャンペーン事業」

交流人口のさらなる増加へ向けて

令和7年12月14日の西九州自動車道平戸インターチェンジ開通に伴い、平戸市外からの新たな宿泊客の獲得と地域経済の活性化を図るため、宿泊クーポン券を販売する。

内容は1,000円で購入すると市が2,000円を補助し、3,000円分の宿泊クーポン券として利用できるもので、コンビニエンスストアを通じて1万枚販売する予定である。

※本キャンペーンは平戸市外の皆さんが対象です。

産業建設文教委員会での主な論議

Q 実施時期や周知方法、対象宿泊施設の設定についてはどのように考えているのか。

A 実施時期は２月から３月までを想定している。この時期は「ひらめまつり」と重なることから、相乗効果が図られるよう、福岡・佐賀・長崎の３県でテレビＣＭを放映するとともに、インスタグラムを活用し幅広く周知を行う。宿泊施設については、市内の全宿泊施設を対象とする方針。

詳しくは特設サイトをご覧ください。

議案第113号「令和7年度平戸市一般会計補正予算（第5号）」中、農業振興課所管「中山間地域等直接支払交付金事業」

スマート農業への取り組みを促すために

中山間地域等直接支払制度は、条件が不利な地域での農業生産継続のため、国および地方自治体が支援するもの。「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき実施されている。

産業建設文教委員会での主な論議

Q スマート農業加算について、90の協定のうち43協定の申請があっているが、まだ申請が済んでいない協定の中には途中加入できることを知らない協定も多いと思う。不公平が生じないよう周知徹底してほしい。

A 年度ごとに途中加入も可能な制度であるため、改めて各協定に対して丁寧に説明を行い、できるだけ多くの協定がスマート農業加算に加入してもらえるよう努めていく。

追加された加算措置

ネットワーク化加算

複数の集落協定間でのネットワーク化、統合などを行った上で、主導的な役割を担う人材の確保と農業生産活動などの継続のための活動を行う場合に加算。

スマート農業加算

先端技術を活用した作業の省力化・効率化の取り組みへの加算。

○対象活動の例

- ▶リモコン式自走草刈機での除草
- ▶ドローン播種（はしゅ）・防除・農薬散布
- ▶水管理システムの導入
- ▶自動鳥獣捕獲機の導入など

リモコン式自走草刈機

ドローンでの農薬散布

議案第136号「工事請負契約の変更について」（南部市民屋内運動場整備事業）

計画段階から徹底した精査を

南部市民屋内運動場整備事業の工事費について、1,460万円ほど増額補正となるもの。

産業建設文教委員会での主な論議

Q 変更箇所の多くは設計段階で把握しておくべき事項である。当初予算の信頼性も損なわれかねないので、しっかり精査したうえで当初予算を提出してもらいたい。

A ご意見は当然のことであり、細かいチェックが漏れていた。今後は、担当部局と十分に協議を重ね、当初予算の段階からチェックを徹底していく。

南部市民屋内運動場（１月13日時点※完成前）

審議された案件と結果

令和７年１２月定例会　○議　案　44件

○議　案

番号	件　名	結 果
95	平戸市ふれ愛センター度島条例の一部改正について	原案可決
96	平戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
97	平戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
98	平戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
99	平戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
100	平戸市火災予防条例の一部改正について	〃
101	平戸市学校屋外運動場夜間照明施設管理条例の一部改正について	〃
102	平戸市社会体育施設条例の一部改正について	〃
103	平戸市生月町勤労者体育センター条例の一部改正について	〃
104	平戸市ふれあいセンター条例の一部改正について	〃
105	平戸市公民館条例の一部改正について	〃
106	平戸市生月町開発総合センター条例の一部改正について	〃
107	平戸市田平町民センター条例の一部改正について	〃
108	平戸市地域交流センター条例の一部改正について	〃
109	平戸市総合運動公園条例の一部改正について	〃
110	平戸市ふれあい会館条例の一部改正について	〃
111	平戸市未来創造館条例の一部改正について	〃
112	平戸市生月町Ｂ＆Ｇ海洋センター条例の一部改正について	〃
113	令和７年度平戸市一般会計補正予算（第５号）	〃
114	令和７年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	〃
115	令和７年度平戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	〃
116	令和７年度平戸市介護保険特別会計補正予算（第２号）	〃
117	令和７年度平戸市工業団地事業特別会計補正予算（第２号）	〃
118	指定管理者の指定について ※平戸市前津吉インフォメーション	〃
119	指定管理者の指定について ※平戸市度島漁港フェリーターミナル	原案可決
120	指定管理者の指定について ※平戸市観光交通ターミナル	〃
121	指定管理者の指定について ※平戸市ふれ愛センター度島	〃
122	指定管理者の指定について ※平戸市田助ハイヤ節伝承館	〃
123	指定管理者の指定について ※平戸市春日集落拠点施設	〃
124	指定管理者の指定について ※平戸市農林水産物集出荷貯蔵施設	〃
125	指定管理者の指定について ※平戸市多目的集会施設	〃
126	指定管理者の指定について ※山田地区活性化センター	〃
127	指定管理者の指定について ※堺目地区活性化センター	〃
128	指定管理者の指定について ※大島地区活性化センター	〃
129	指定管理者の指定について ※平戸市紙漉の里ふれあい施設	〃
130	指定管理者の指定について ※田平町南地区交流センター	〃
131	指定管理者の指定について ※田平町東地区交流センター	〃
132	指定管理者の指定について ※平戸市中野ふれあい会館	〃
133	指定管理者の指定について ※平戸市獅子ふれあい会館	〃
134	指定管理者の指定について ※平戸市中津良ふれあい会館	〃
135	指定管理者の指定について ※平戸市志々伎ふれあい会館	〃
136	工事請負契約の変更について ※南部市民屋内運動場	〃
137	字の区域の変更について ※農業競争力強化基盤整備事業（向月地区）	〃
138	工事請負契約の締結について ※市道山中・紐差線（大越工区）	〃

令和７年12月定例会 一般質問

12月定例会では、12月３日～５日の一般質問で12人の議員が登壇。松尾有嗣新市長の行政運営や産業振興、人口減少対策などの課題への対応策や今後の計画・進捗などについて市の考えを質すほか、議員それぞれの視点からの提案などについて議論が交わされました。

※各議員の二次元コードから一般質問の録画放送をご覧になれます。
※文責はいずれも本人です。

一般質問とは

議員が市政運営全般にわたり、その執行の状況や将来の方針、考え方などを市側に質し、答弁を求めることをいいます。平戸市議会では定例会毎に実施しており、答弁時間を含めて、1人あたり60分の持ち時間が与えられています。

課題に即した施策の再検討を

新波クラブ
針尾　直美

録画放送

議員　移住推進の課題認識は。

財務部長　アンケート調査で移住の障壁と挙げる回答が多かったのは「仕事」と「住まい」。

議員　国や県などの公営住宅の空き部屋を移住者向け住宅として活用できないのか。

財務部長　活用について、関係機関と協議し調整を進めている。移住推進に資するよう、今後も調整に努めたい。

議員　例えば看護師など人材不足が顕著な職種に係る移住支援を強化するなど、ターゲットを絞った対策を行う考えは。

財務部長　ターゲットを絞ることも手法の1つとして、研究を進めていく。

議員　夜間や雨天時の走行の頼りとなる道路の区画線が消えているのは危険。早急な対応が必要。点検・補修工事はどのように行っているのか。

建設部長　点検は、シルバー人材センターに委託し、職員の通勤や現場移動の際にも道路の異常等の把握に努めている。補修は、予算の範囲内で交通量が多い路線を優先的に実施している。

議員　不登校者は増え続け、昨年度過去最多となっている。安心して学べる環境の提供は大人の責務。教育委員会だけでなく、市全体で考える必要がある。市長部局としての取り組みは。

福祉部長　必要に応じ、こども未来課が教育委員会と共通認識を持ち、支援の方向性を検討するなど、連携を図っている。

ともに学ぶ子どもたち

お米券配布や市民の負担軽減イノシシ対策を問う

日本共産党
岡村　文雄

録画放送

議員　コメの高騰に対し全世帯へお米券の配布を求める。

市長　重点支援交付金活用でお米券等の食料品物価高騰支援も含め、活用内容は庁内で検討する。

議員　平戸市の水道料金は、県下13市の中で一番高い。水道料金の引き下げを求める。一般財源からの繰入や国からの支援を求めるべき。

水道局長　平戸市は、離島など地理的要因から、人口規模に対してダムや浄水場、配水池などの水道施設を数多く所有しており、老朽化した水道施設の更新に多額の費用を要する。また、物価高騰から水道会計の赤字が発生する見込みで、料金引き下げは非常に困難な状況である。

議員　小中学校給食費の無償化を求める。

教育次長　市単独では無理なので、国・県の支援を要請している。

議員　基金を活用して国民健康保険税の引き下げを求める。保険税が高くなる統一はやめるべきだ。基金の活用や国庫負担を大幅に増やすことを求める。

市民生活部長　国が定める国保の県内統一に向け協議中。統一時には保険税の上昇が見込まれる。

議員　介護保険料の引き下げを求める。

福祉部長　厳しい状況だが、今後とも基金の充当や適切な給付に心がけて保険料の設定に努める。

議員　イノシシ対策に市が本腰を入れて取り組むこと。その捕獲促進の対策として鳥獣対策再資源化施設設置の取り組みを求める。

市長　捕獲強化は必要。猟友会や関係機関と協議し対策を講じていく。

捕獲されたイノシシ

市長の公約実現に向けての取組

是非の会
松尾　実

録画放送

議員　選挙で公約にあげていたマニフェスト実現に向けて、どのような思いで問題解決に取り組まれるのか。

市長　最優先で取り組むのは、第一次産業の再生と成長である。本市の原点である農林水産畜産業の活力なくして、人口の維持も観光振興もなし得ないのではないかと考える。

　特にスマート農業の導入支援や担い手育成、生産から販売までの一貫支援、ブランド化と販路開拓を県や国との連携でスピード感を持って進め、稼げる第一次産業への転換が実現できるよう取り組む。

　人口減少対策は、空き家活用による移住促進とテレワーク環境整備などの仕組みづくりを実行する。

議員　中部地区にこれまであった乗り合いタクシーが廃業になり、お年寄りなど交通弱者の皆さんが移動の不便さを非常に感じているが、どう取り組むのか。

総務部長　高齢化が進む本市において、移動手段がないということは、生活の質を大きく左右するものであり、通院、買い物、通学、行政手続きなど、車を持たない方や運転できない方の日常の移動を保障することが安心の第一歩と考える。

　中部地区においては、ふれあいバスが平日に利用できない地域においても、来年度以降は、全域でデマンド利用ができるように柔軟な取り扱いにしたいと考えている。

スマート農業のイメージ

高齢社会への対応と公設霊園の設置を問う

是非の会
池田　稔巳

録画放送

議員　高齢者の健康寿命維持の主な取り組みは。

福祉部長　平成26年度から「住民主体の通いの場」を設置し、現在113団体、1千500人が参加している。

議員　介護人材不足にどう取り組むか。

福祉部長　今年度、介護施設関係者やハローワークの参加のもと、「平戸市介護職人材確保対策協議会」を立ち上げた。実効性のある協議をしていきたいと考えている。

議員　20年後を見据え、市営高齢者集合住宅を、医療・福祉・介護の観点から考えてはどうか。

福祉部長　集落における互助機能の低下や移動手段を考えると、コンパクトシティを発想するが、面積の広い平戸市で考えるとハードルが高いと考えている。

議員　市営住宅の配置においては、無配置となる地区を無くした地域割りを考えていただきたい。

建設部長　令和7年4月現在、住宅入居数774戸のうち、65歳以上は289戸で37%。今後の地区別目標管理戸数としては、北部308戸、中部5戸、南部13戸、生月93戸、田平309戸の合計728戸を想定している。

議員　公設霊園の設置を考えてはどうか。

市民生活部長　本市の場合、早急な対応は難しいが、その必要性などを検討・研究していきたい。

無縁仏の納骨堂（大久保町）

人口減少対策の推進を支所・出張所の機能強化を

新時代
原野　育朗

録画放送

議員　人口減少対策は、市にとって最重要課題の1つと考えるが、現状と今後の取り組みはどうか。

財務部長　現在「移住・定住政策班」において、職員3人、移住コーディネーター1人で取り組んでいるが、ふるさと納税、結婚対策も同班で行っている。

　本市においては「平戸市ずっと住みたいまち創出条例」を制定しており、将来にわたり定住人口の安定的な維持と、市民の皆様がずっと住みたいと思えるまちづくりを進めることを最重要課題として取り組んでいる。

　また、新たな支援策を令和8年度に向けて見直しており、地域おこし協力隊の活用についても検討中である。

議員　合併当初、支所は一定の職員と権限を残した「総合支所方式」であったが、現在は人員、権限が大幅に減少している。

　総合計画において地域ごとの取り組みを明記した「地域づくりプロジェクト」は、地域ごとの施策が重要と考えているからではないか。

　地域の拠点としての支所や出張所の役割は大変重要であり、職員の増員による機能強化が重要であると考えるが。

市長　市の財政状況などを考えると、事業の見直しや経常経費の削減が必要である。現状では困難であるが、地域振興は重要であるため、既存の体制の中で出来る限りの取り組みを進めたい。

平戸市総合計画（概要版）

市長の描く未来と交通船の安定運航を問う

新波クラブ
神田　全記

録画放送

議員　市長が描く平戸の未来「第一次産業を守り・育て・稼ぐ」について、その思いをたずねる。

市長　市長として、産業を成長軌道に乗せることを最重要課題としている。

守るためには、農林水産業に携わる皆様の声を聴き現場に寄り添った行政を貫くことが不可欠。

育てるためには、若者や女性がこの産業に将来性を感じる環境づくりが必要である。

そしてさらなるブランド化、販路拡大で稼ぐ力への転換を図っていくため、これまで国政で培った経験と人脈を活かし、国や県と連携しながら必要な補助金を引き寄せるとともに、制度創設についても働きかけていく。

行政が伴走者となり課題の共有と、解決策をつくることができる体制実現を目指し、「できない理由」ではなく「どうすればできるか」の姿勢で誇れる平戸市の第一次産業を次の世代につないでいく。

議員　交通船の定期検査はこれまでどのようにしてきたのか。

総務部長　5年ごとの精密検査、1年ごとの中間検査「船体及び機関設備」を行っている。

議員　最近欠航も多いようである。運輸局の規定もあるが大島の浮桟橋、港の形状は予算がかかっても検討すべき。今回傭船に対するさまざまな課題があったが旅客船協会との連携と緊密な関係構築が重要であるが。

総務部長　さらに情報連携を密にしていく。

市長　離島航路の確保と安定運航に向けて必要な財源確保等尽力する。

フェリー大島

合併後20年 行財政改革の進捗と今後の取り組みを問う

市民の会
竹山　俊郎

録画放送

議員　行政改革は、市長をはじめ職員の関心と意気込みがなければ、進捗は望めないものと考えている。

さらに、人口減少に歯止めがかからない状況では、すべての消費形態が利用者の減少からくる利用料の減少や売り上げの縮小を招いている。

人口に見合った公共施設のあり方や、行政業務の改善など、課題は山積していると考えるが、市長はどのように捉えているのか。

また、行財政改革がこれまで以上に成果を上げるために、人材と組織をどう構築し設置するのか。

難しい行政運営が予想されるが、「皆様方ときずなを結んで新しい平戸市を開いていく」との信念のもと、これから4年間、明るい展望のある市政のかじ取りをお願いする。

市長　就任以降、各担当部署から政策の進捗状況や懸案事項などの説明を受けているが、人口減少や少子高齢化などを背景に多くの社会的課題が山積しており、行政改革や財政健全化などの必要性について改めて強く感じた。

今後も厳しい行財政運営が予想されるが、市民の期待や課題を的確に把握し、政策に反映させるとともに、市民と職員が一体となって取り組める体制をつくり、「未来をひらく　きずなを結ぶ　平戸」の実現に全力で取り組んでいきたい。

旧城下町商店街の街並み

市長就任の決意と野生鳥獣対策の方針 ハラスメント対策を問う

是非の会
松口　茂生

録画放送

議員　平戸市の発展のため、どのような決意で臨まれるのか。

市長　市政運営の根幹は「挑戦とつながり」を掲げている。誇れる平戸市、選ばれる平戸市の実現に向け取り組む。

議員　市民との関係性の構築は。

市長　市民の声こそ市政の原動力。現場主義を徹底し、市民が直接市政に参加できる対話の場の設置など、市役所内部に市民の声を活かす組織づくりを行う。

議員　野生鳥獣の捕獲や管理を専門に行う公務員・ガバメントハンターを制度化できないか。

農林水産部長　猟友会と連携して有害鳥獣対策実施隊を市の特別職員と位置付け対策に当たっている。今後必要であれば増員も検討したい。また、捕獲活動の一助を担える捕獲隊を結成しているところもある。今後はこれを拡大し、捕獲体制の強化に取り組まなければならないと考える。

議員　捕獲後のイノシシ処理施設が必要と考えるが。

農林水産部長　民間事業所と協議を継続している。焼却等処理施設は近い将来必要と考えているが、設置場所は近隣住民の理解も必要なため、慎重に検討している。

議員　ハラスメントの根絶と対策を伺う。

副市長　近年のパワーハラスメントは、世代間の価値観の変化や意識の多様化が背景にあると言われている。根絶は一朝一夕には達成できないが、全庁挙げた取り組みを着実に進めていく。

平戸市役所本庁舎

平戸の未来への投資

新時代
山内　信太朗

録画放送

議員　地域や経済状況による学習機会の格差を是正するため、学校外学習やオンライン学習への経済支援導入の考えを問う。

教育長　財政や人材確保に課題があり、現状では導入は困難であるが、公教育の充実を最優先に考えている。

議員　選挙の投票率向上のために期日前投票所を生活導線上である商業施設に設置するのはどうか。

総務部長　商業施設での投票所設置は、施設条件や人員確保の課題が多く、現時点では困難である。

議員　平戸大橋交差点における渋滞の実態把握および交通安全確保に向けた改善策を問う。

建設部長　交通量調査と信号調整などの対策を実施済み。今後は平戸インター開通による改善を見込んでいる。

議員　平戸大橋交差点が渋滞することで、田平公園入口にて右折できない車両が発生し、複合渋滞を招いている。田平公園入口に駐停車禁止帯を設置し緩和できないか。

建設部長　地元から要望などの提出があれば、県および警察に進達していく。

議員　平戸大橋交差点の渋滞が観光満足度や市のイメージに与える影響と改善の必要性を問う。

文化観光商工部長　渋滞は観光満足度低下の要因となり得るため、今後も交通状況を注視していく。

平戸大橋渋滞＆田平公園入口関連資料

水道料金の支援や農林水産の継続的な振興を目指して

新蒼会
綾香　良浩

録画放送

議員　本市の水道事業は、水道料金収入の減少や施設の維持管理、老朽化などの課題に直面し、財政状況は厳しさを増しているが、市民生活は長引く物価高騰で大変苦しく、家庭や事業者の負担は既に大変重い。市民の不安を和らげるため、水道料金に関する支援があれば市民は平等に広く恩恵を受けることができる。これからの水道事業の方針についてどう考えるか。

市長　安全で安心な水道水の供給を将来にわたって安定的に持続しなければならない。健全な経営を維持するため経常経費の削減に努めていく。

議員　農林水産業について、働き手が自然減になっても、生産額の維持と成長を促すために、働きやすい環境を整備することで大きく将来への展望が改善される。将来の生産額の向上、成長に向け取り組みを強化する考えは。

農林水産部長　既存の担い手の経営継続、後継者への継承といった新たな取り組みの検討が必要。生産性の向上や労力負荷の低減、燃油経費負担軽減による安定した生産体制の維持を図っていきたいと考えている。

議員　全国和牛能力共進会を見据えた取り組みと平戸和牛の振興を担う行政としての意気込みは。

農林水産部長　生産者を含めた関係機関とのチーム会議により、巡回指導を強化し、候補牛の確保育成に取り組み、全国和牛能力共進会での日本一奪還を目指したいと考えている。

平戸市の代表牛の審査

イノシシ被害対策と中部地区の交通を問う

新蒼会
山田　能新

録画放送

議員　「数ヶ月かけて育てた米や野菜が、イノシシ被害で一夜にして何も残らず非常に残念である。どうにかしてほしい」との声が多くある。新たな被害対策を講じなければ離農者が増え農地が荒れてしまう。そこで猟犬を使った捕獲チームを平戸市で編成し年間を通してイノシシ捕獲をすることはできないかたずねる。

農林水産部長　市内農業者がイノシシ被害に困っている現状から、新しい捕獲や駆除の方法などについて、さまざまな角度から研究を重ね、猟友会の意見を聞きながら関係機関とも協議し、より良い方法はないか検討したい。

議員　中部地区に拠点を置くタクシー会社が廃業した事で、市民が急ぎの時、病院に行くことができない、高齢者が急ぎの要件のとき出かけられないなどの声があるが、現状をどのように把握し、その対応策について考えているか。

総務部長　田平町に事務所を置くタクシー事業者が中部地区の市民病院に2台常駐していたが、利用者が少なく採算に合わず、現在1台が常駐している。

議員　中部地区で自由に移動できる手段はないのか。

総務部長　平戸市ふれあいバスのデマンドバス（事前に電話やアプリで予約し、バス停や自宅まで迎えに来てくれるバス）を、月曜日から土曜日の午後1時30分から午後6時まで運行している。
※事前の利用登録と乗車前日までの予約が必要。

平戸市ふれあいバス

市長の政治姿勢と市政運営 消火栓ボックスや防火水槽の適正管理を問う

政和会
岡　康則

録画放送

議員　市長としての政治姿勢は。

市長　市民一人ひとりの声を中心に置き、対話、オール平戸を基本姿勢としている。タウンミーティングや若者会議を開催し直接声を聞く機会を設けたい。

議員　選挙公約に掲げた7つの課題のうち、優先して行う項目・内容は。

市長　第一次産業では、農業、漁業、畜産業を稼げる産業へと展開する。観光業では、歴史と文化を生かした観光商店街整備や国内外から人々を呼び込む仕組みを作る。人口減少高齢化対策では、空き家バンクの再構築や移住者向け住宅改修支援、子育て世代への切れ目ない支援体制、テレワーク環境支援を行う。

議員　ふるさと納税を活用して消火栓ボックスが整備されたが、老朽化し交換が必要なものが見受けられる。交換は、自治会負担ではなく、行政の負担で行ってほしい。

消防長　設置から十年を経過し、潮風が当たりやすい箇所など劣化が激しいものがある。格納箱1台が、耐久性のあるステンレス製で約5万円と高額であり、全基の一律更新は困難なので、更新の基準を設定し整備したい。

議員　崎方公園内に設置されている防火水槽が、公園整備でポンプ車が入りにくくなっているので環境整備が必要では。

消防長　車両の大型化で接近しづらくなり、また公園駐車場進入道路整備工事中で接近できないため、人力で可搬ポンプを搬送するようにしている。消火活動がスムーズに行えるように担当課と協議する。

防火水槽の標識（例）

議会構成の変更のお知らせ

令和７年12月24日付けで、下記のとおり議会の構成に変更がありましたのでお知らせします。

○議会会派の結成および変更

旧	
改進会	◎竹山　俊郎
	池田　稔巳
	松尾　　実
	松口　茂生

新	
市民の会	◎竹山　俊郎
是非の会	◎池田　稔巳
	松尾　　実
	松口　茂生

３月定例会のお知らせ

令和８年３月定例会は、**２**月**24**日（火）開会予定です。詳しい日程は、後日、議会運営委員会で決定し、市HPでお知らせします。

傍聴時の注意点

進行の妨げとならないよう、傍聴席周辺での私語や携帯電話の使用はお控えください。
※携帯電話などは電源を切るかマナーモードに設定してください。